

U・ターン就職を支援

立命館大学、京都産業大学と協定

今年の春、大学・短大に進学した人の6割が県外に進学。中でも京都府への進学者は一番多くなっています。

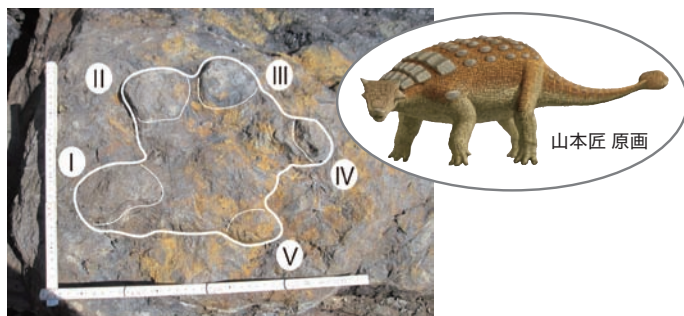
県は、県外に進学した学生のUターンを促進するため、8月31日、京都府の立命館大学、京都産業大学とUターン就職支援の協定を締結しました。

大学では、福井県内の企業の説明会を開催したり、学生に福井で暮らすメリットを説明する場を設けるなど、県との連携を深めます。西川知事は、「大学が人材を育成し、再び地元に戻すという新しい人の流れができる」と期待を寄せました。



アンキロサウルス類の足跡等を発見

第4次恐竜化石発掘調査・中間報告



県では、平成元年以来、勝山市北谷町杉山の手取層群北谷層において恐竜化石発掘調査を実施。これまでにフクイラプトルやフクイサウルスなど、新種の恐竜4種の化石が発見されています。

第4次恐竜化石発掘調査の3年目となる今年、アンキロサウルス類(ヨロイ竜)の足跡化石や昆虫の化石などを発見しました。

アンキロサウルス類の足跡化石は、富山県の2例に次いで国内3例目、県内初めての発見であり、白亜紀の福井にアンキロサウルス類が生息していた証拠となります。

独身男女の出会いと結婚を応援!

「ふくい結婚応援企業」を登録



県では、職場のつながりを活かした縁結びを進めるため、「ふくい結婚応援企業」を募集しています。

9月7日には、金融機関や製造業、電力会社など52の企業、団体を登録し、西川知事から登録証を交付。企業は「職場の縁結びさん」を設置し、婚活イベントへの参加の声かけや、社内外での交流会の開催など、独身従業員の出会いと結婚を応援します。

さらに、9月の大型連休には、県外からのUターンを考える本県出身女性を対象とした「Uターン婚活交流会」や、一般の方が対象の「寺コン」を開催。今後も様々な出会いの場を創出していきますので、ぜひご参加ください。

里山里海湖の生き物を調査

中学校理科教員を「研究推進員」に委嘱

里山里海湖研究所は、「県民のため、社会のため、実社会に役立つ研究を行い、美しい風土を残しながら福井という地域みんなが元気になる」ことを目指して活動しています。

今回新たに、中学校の理科教員との連携を深め、学校現場における環境教育を充実させていくため、県内の中学校に勤務する理科教員全員に当研究所の「研究推進員」を委嘱。生きもの調査や研究に参加していただきます。

8月28日には、進士五十八所長から若狭町内中学校に勤務する理科教員6名に、委嘱状を交付。今後は、研究所と研究推進員が情報交換を進め、小中学校の環境教育に活かします。

